

は し が き

国立教育政策研究所では、所の研究成果を教育現場をはじめとして広く普及し、教育指導法の改善や教員の資質向上などに役立てていただくという趣旨により、平成2年より教育研究公開シンポジウムを開催している。

今回の第25回教育研究公開シンポジウムは、「これからの学校評価を考える」というテーマにより、茨城県教育研修センターのご協力を得て開催した。

文部科学省においては、小学校設置基準・中学校設置基準や閣議決定等を踏まえ、平成18年3月に「学校評価ガイドライン」を示したところである。国立教育政策研究所においては、昨年度より「教育・研究組織における評価に関する総合的研究」を開始している。この研究は、「教育の質保証」の方法を確立するため、初等教育から高等教育までを範囲とした、教育政策評価、学校評価、授業評価の3つを接続させた、教育の質保証システムの体系化を図ることを目的として実施しているものである。

このたびのシンポジウムは、当研究所の学校評価に関する研究成果を報告すると同時に、学校評価の在り方について、学識者と学校現場の方を交えて議論することとした。合わせて、文部科学省が開催している学校評価の推進に関する調査研究協力者会議の座長を務める天笠茂・千葉大学教授に基調講演をお願いした。

当日は、茨城県下の学校関係者を中心に200名が参加した。

本報告書は、このシンポジウムにおける基調講演および討論の内容をまとめたものである。学校での指導などに生かしていただければ幸いである。

本シンポジウムは、茨城県教育研修センターの皆様をはじめ、多くの関係者のご協力をいただいた。ご協力くださった各位に対し、改めて謝意を申し上げます。

平成19年3月

国立教育政策研究所長
矢野重典

目次

はしがき

【あいさつ】…………… 7

矢野重典 (国立教育政策研究所長)

大川秀一 (茨城県教育研修センター所長)

【基調講演】……………13

「学校評価をめぐる今日的課題」

天笠 茂 (千葉大学教授、文部科学省学校評価の推進に関する調査研究協力者会議・座長)

【パネルディスカッション】…………… 25

「義務教育の質保証と新しい学校評価の在り方」

コーディネーター 小松郁夫 (国立教育政策研究所教育政策・評価研究部長)

シンポジスト 天笠 茂 (千葉大学教授)

浜田博文 (筑波大学助教授)

野村昌信 (IBMビジネスコンサルティングサービス(株) 公共事業本部 教育事業部長)

石川 潤 (日立市立助川中学校長)

プログラム

第25回

【教育研究公開シンポジウム】

これからの学校評価を考える